



1年間の高速化と リファクタリングの実践



RIZAP GROUP TECHNOLOGIES

DEC 2024,



新井 幸希

Arai Koki

RIZAPテクノロジーズ株式会社
プロダクト開発統括1部

chocoZAPバックエンド担当

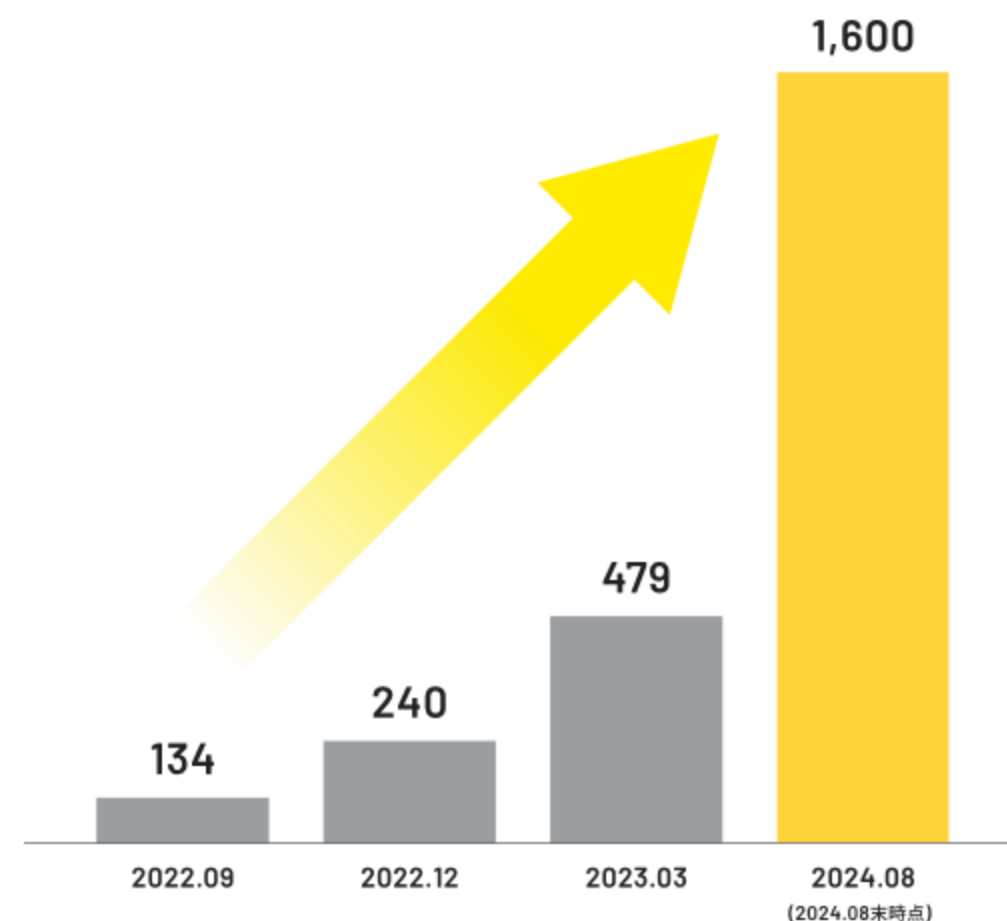
趣味・サッカー & 格闘ゲーム



全国 **1,600** 店舗以上

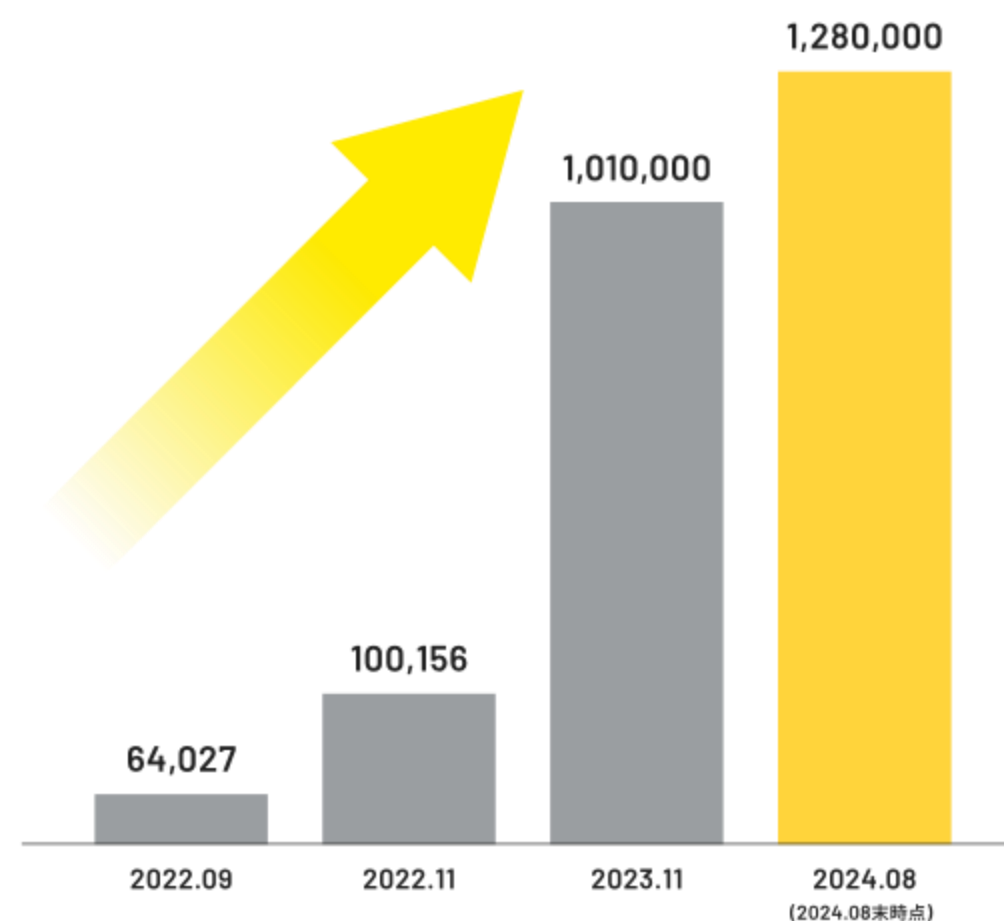
(2024.08末時点)

※2023年6月以前の数値は、chocoZAP以外の旧屋号を含む合計店舗数



会員数 **128** 万人突破

(2024.08末時点)



2026年3月までに
2800 店舗へ

中期経営計画の達成に向け
chocoZAP出店を継続





chocoZAPアプリの使用言語



chocoZAPが

抱えていた課題





chocoZAPが抱えていた課題



chocoZAPが抱えていた課題

01

リクエストレスポンスの速度が遅い



chocoZAPが抱えていた課題

01

リクエストレスポンスの速度が遅い

アプリトップ

1.13s

店舗一覧

2.20s



chocoZAPが抱えていた課題

01

リクエストレスポンスの速度が遅い



chocoZAPが抱えていた課題

01

リクエストレスポンスの速度が遅い

02

DDDの実装によるコードの複雑化と理解の困難



chocoZAPが抱えていた課題

```
module V1
  class UsersController < ApplicationController
    def show
      usecase = ::Users::Usecase::UsersShow.new
      res = usecase.exec(@user_id)

      render json: UserSerializer.new(res).serializable_hash
    end
  end
end
```



chocoZAPが抱えていた課題

```
module Users
  module Usecase
    class UsersShow
      def initialize
        @repo = Users::Repository::UserRepository.new
      end

      def exec(user_id)
        @repo.find_by(user_id)
      end
    end
  end
end
```



chocoZAPが抱えていた課題

```
module Users
  module Repository
    class UserRepository
      RESOURCE = "users"
      def initialize
        @cli = Rizap::Be::Client::BackendClient.new(RESOURCE, Users::Entity::User)
      end

      def find_by(user_id)
        @cli.get("/#{user_id}", entity: Users::Entity::User)
      end
    end
  end
end
```



chocoZAPが抱えていた課題

```
module V1
  class UsersController < ApplicationController
    def show
      usecase = ::Users::Usecase::UsersShow.new
      permitted = params.permit(:id)
      res = usecase.exec(permitted[:id])

      json_string = JsonSerializer.new(res).serializable_hash
      render json: json_string
    end
  end
end
```



chocoZAPが抱えていた課題

```
module Users
  module Usecase
    class UsersShow
      def initialize
        @repo = Users::Repositories::UserRepository.new
      end

      def exec(id)
        @repo.find(id)
      end
    end
  end
end
end
```



chocoZAPが抱えていた課題

```
module Users
  module Repositories
    class UserRepository < ::Repository
      private

      def model_name
        User
      end
    end
  end
end
```




chocoZAPが抱えていた課題

```
class Repository
  def find(id)
    model_name.find(id)
  rescue ActiveRecord::RecordNotFound
    raise System::Error::NotFoundError
  end

  def find_by(key, value)
    model_name.find_by(key => value)
  end
end
```



chocoZAPが抱えていた課題

```
class Repository
  def find(id)
    model_name.find(id)
  rescue ActiveRecord::RecordNotFound
  end
end
```

これってつまり...

```
def find_by(key, value)
  model_name.find_by(key => value)
end
end
```



chocoZAPが抱えていた課題

こういうこと!

```
1 class UsersController < ApplicationController
2   .. def show
3     .. @user = User.find(params[:id])
4   .. end
5 end|
```



chocoZAPが抱えていた課題

02

DDDの実装によるコードの複雑化と理解の困難

新規メンバーのラーニングコストが高い

オンボーディングへの負荷が高い



chocoZAPが抱えていた課題

02

DDDの実装によるコードの複雑化と理解の困難

研修で
Railsガイドラインを
勉強したぞ！



現場に入ったら
DDDを一から勉強
することになった……





chocoZAPが抱えていた課題

01

リクエストレスポンスの速度が遅い

02

DDDの実装によるコードの複雑化と理解の困難



chocoZAPが抱えていた課題

01

リクエストレスポンスの速度が遅い

02

DDDの実装によるコードの複雑化と理解の困難

03

ProxyにしかになっていないBFF



chocoZAPが抱えていた課題

03

ProxyにしかかっていないBFF

Backend For Frontendなのに、Ruby on Rails製でバックエンドの人間が開発していたため、ただのProxyにしかかっておらず管理コストが負担に。





chocoZAPが抱えていた課題

03

ProxyにしかなかったBFF

適切な運用がされていないため

Backend For Frontendなのに、Ruby on Rails製

不要の判断に

していたため、ただ
管理コストが負担に。



課題への解決策としての

リファクタリング

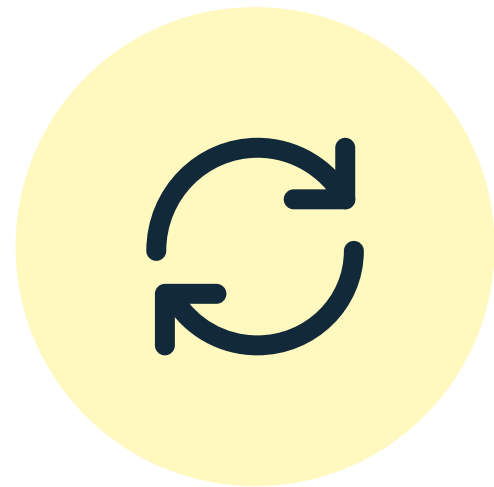




リファクタリングの際にしたこと



リファクタリングの際にしたこと

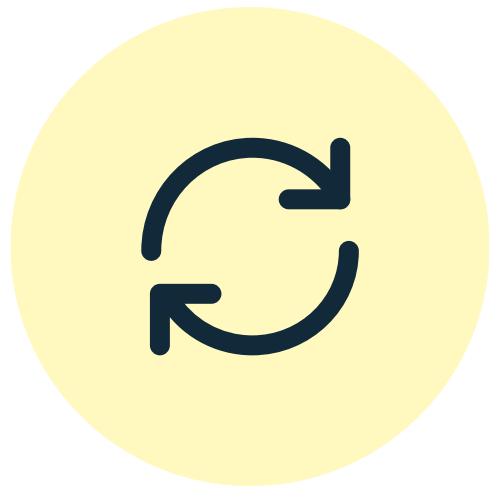


DDDからMVCへ

全バックエンドメンバーで既存実装の理解を行ったのちに
コードを置き換える



リファクタリングの際にしたこと



DDDからMVCへ

全バックエンドメンバーで既存実装の理解を行ったのちに
コードを置き換える

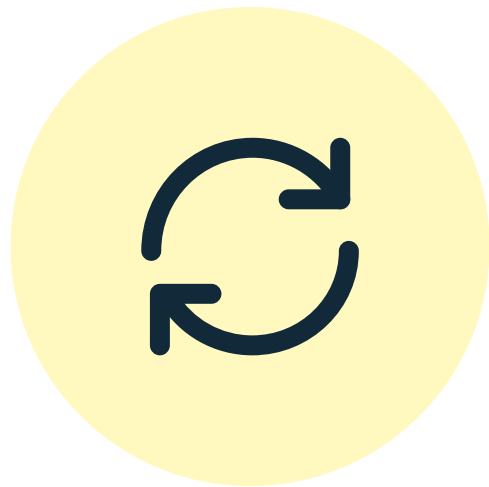


BFFの廃止

クライアントから直接BEのAPIを叩くようにし、一つの
コントローラーにまとめた



リファクタリングの際にしたこと



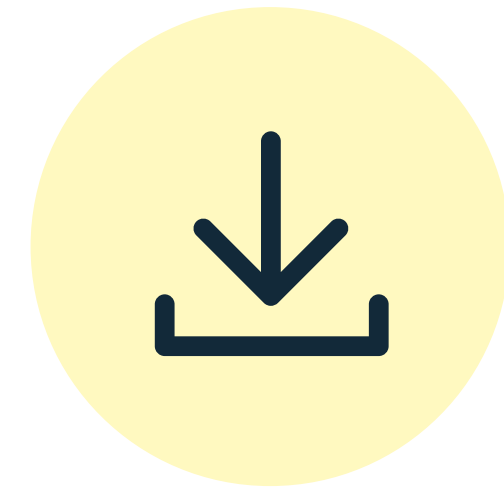
DDDからMVCへ

全バックエンドメンバーで既存実装の理解を行ったのちにコードを置き換える



BFFの廃止

クライアントから直接BEのAPIを叩くようにし、一つのコントローラーにまとめた



YJITの導入

Rubyのバージョンを3.1から3.3系にアップグレードしてYJITを導入

※リファクタリング作業中にRuby 3.3.1がリリース

リファクタリング結果と

達成して得られた点





リファクタリング結果



リファクタリング結果

01

リクエストレスポンスの速度が速くなった

リファクタリング結果

01 | リクエストレスポンスの速度が速くなった

アプリトップ

1.13s ▶ **505**ms

店舗一覧

2.20s ▶ **14.5**ms

リファクタリング結果

01

リクエストレスポンスの速度が速くなった

リファクタリング結果

01 | リクエストレスポンスの速度が速くなった

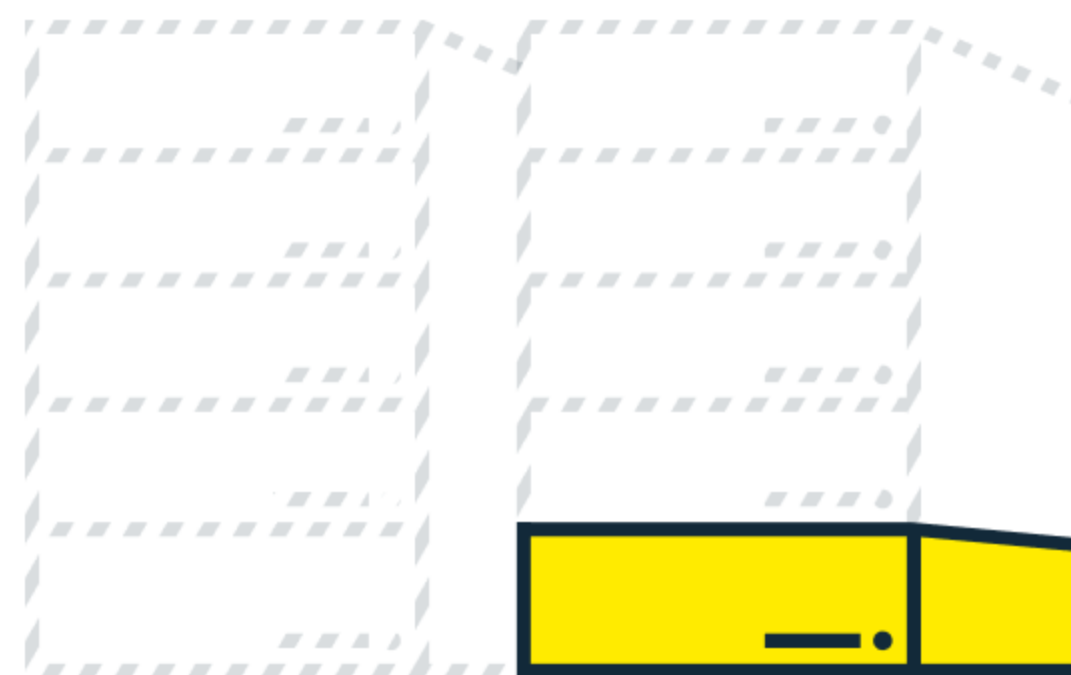
02 | リクエスト数が減少した

リファクタリング結果

02 | リクエスト数が減少した

BFFで各コンテンツごとの処理を

1コントローラーに



リファクタリング結果

01 | リクエストレスポンスの速度が速くなった

02 | リクエスト数が減少した

リファクタリング結果

01 | リクエストレスポンスの速度が速くなった

02 | リクエスト数が減少した

03 | AWSインスタンス数が激減しコスト削減に繋がった

リファクタリング結果

03

AWSインスタンス数が激減しコスト削減に繋がった

三桁の時もあったEC2が

5台以下に



リファクタリング結果

コードが**シンプル**かつ**理解しやす**くなった

研修で
Railsガイドラインを
勉強したぞ！



オンボーディング
が容易に！研修の
知識を活かせる！



達成して得られた点

Railsの標準に沿って開発することが一番大事！

標準の道具

×

標準の方法

×

必要十分で作る

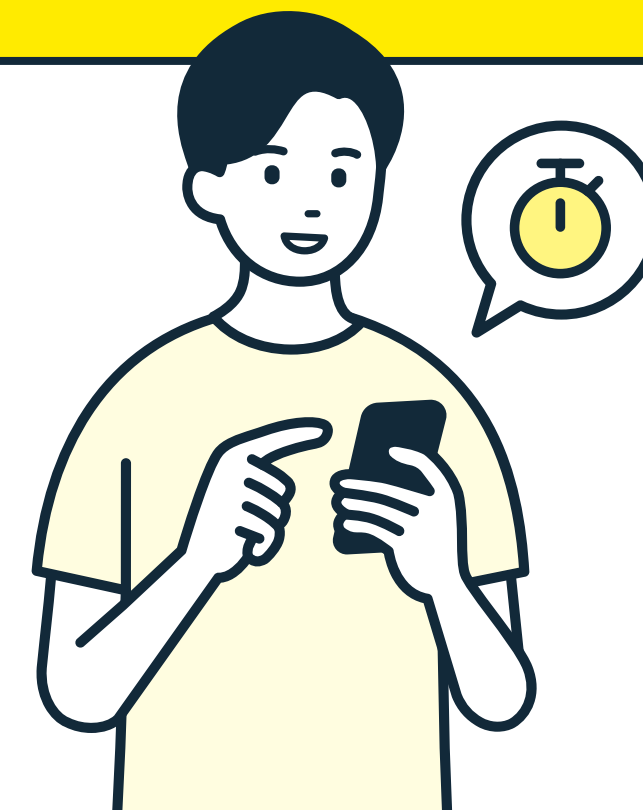
Quoted From Kaigi on Rails 2024

達成して得られた点

BFFの廃止によって管理コスト減少

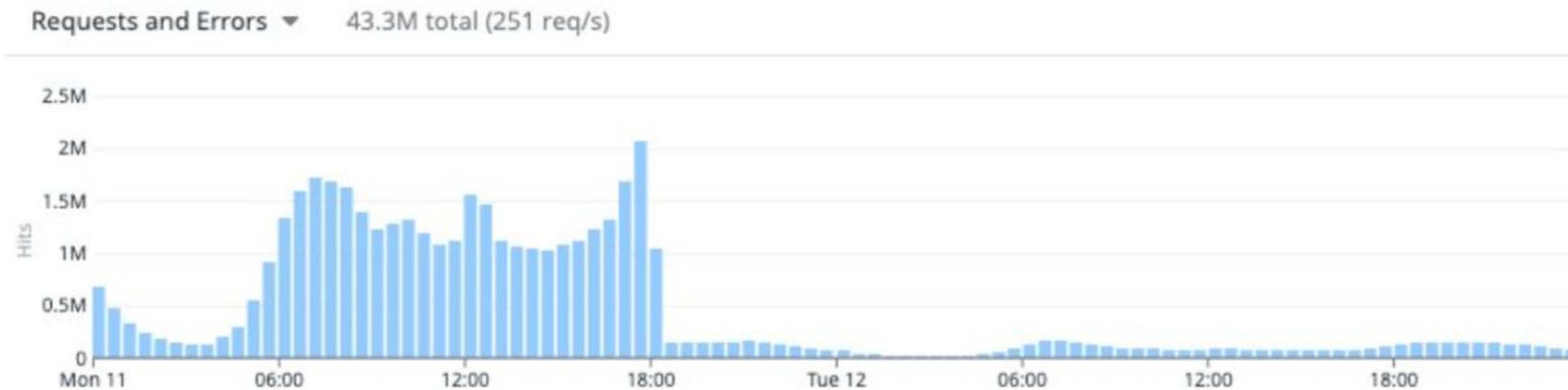
リクエスト数 **約1/100削減**

コントローラーでSQLをまとめたので速度が上がった



余談

**BFFで不必要にuser_idの確認をしている処理があり、
該当処理を削除した結果すごいことになった**





今後の展望

Rails Wayに沿ったアプリ開発!

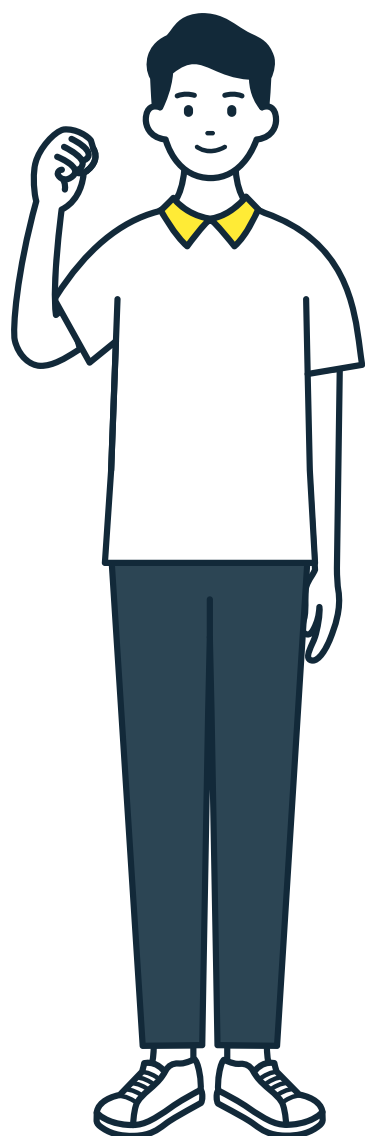




中途採用について

＼ 新規メンバー募集中！ ／

全ポジション
募集中！



Ruby

Swift

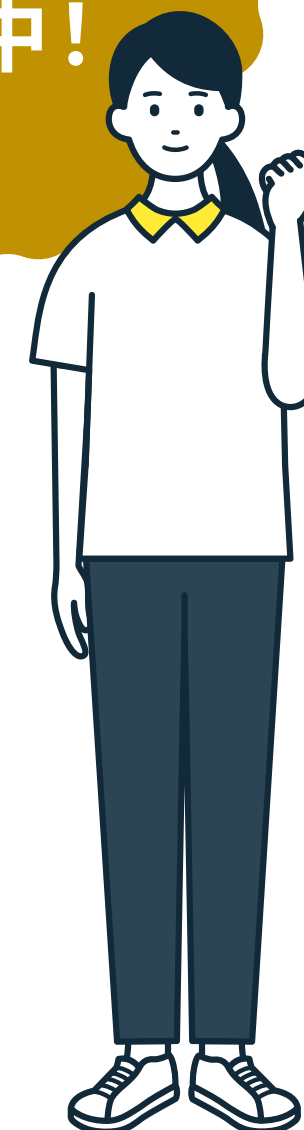
Kotlin

SRE

PM

QA

等



noteも見てね



https://note.com/rizap_tech/

THANK YOU!

